

# 御池鐵工所、5面加工機導入



【福山】御池鐵工所 2018年に本社工場（広島県福山市、小林由和社長、084・963・5500）は、2018年に本社工場で事務棟を新設するとともに、生産設備も増強する。新事務棟は来春に完成予定。145人収容可能な会議室を設置するほか、設計・開発などの担当者が連日、御池鐵工所の本社工場（左手前が新棟建設予定地）

携しやすい環境を整える。設備増強では5面加工機を導入し、環境地元の働きやすい環境を実感してもらおう（小林社長）という。主力のリサイクルプラント向け大型の破砕機や選別機などは、11年の東日本大震災、16年の熊本地震後の復興対応などで需要が堅調に推移している。同社は16年に本社工場を増強したが、さらに5面加工機を追加して対応する。同社の16年8月期売上高は55億円。従業員は約145人。

日刊工業新聞社は9月6～8日に「難加工技術展2017」「表面改質展2017」をパシフィコ横浜（横浜市西区）で開催する。難加工技術展は試作加工受託ゾーンを含む61社・団体が、表面改質展には38社・団体が出展する。主な出展者の製品・技術を紹介する。（2回連載）



5軸加工機で難形状切削物  
HILLTOP  
HILLTOP（京都市宇治市、0774



41・2933）は、5軸加工機による難形状切削物オブジェ「ヘリックスII写真」を紹介する。同時5軸でアルミニウム素材の一体物を加工した。同社は夜間無人稼働で高精度切削部品、研削加工部品を展示する。

密加工を短納期でできることを特徴とする。精度管理徹底 不良発生防く 日本精密電子 日本精密電子（横浜



さまざまな形で高精度加工紹介 大成工作所 大成工作所（大阪府交野市、072・891・4800）は、各分野で使用される精密部品を主力製品とし、高精度加工技術を

タンクステンなど超精密加工 高洋電機 高洋電機（三重県玉城町、0596・580・2121）は、精密旋盤による難削材の高精度加工物（写真）を展示する。放電や研磨

砥石の目詰まり 微細な泡で防ぐ 日本タンクステン 日本タンクステンは直径1.5mm未満の微細な泡で加工能率を高め、ウルトラファインバブル（UFB）ク

さまざまな形で紹介する。多業種ユーザーからの要求（精度、面粗度、価格）を満たした部品や治具、直径30mm、長さ500mm（マイクログリ）の微細目詰まりを防止、安定した切れ刃を維持できるといふ。加工液の劣化防止にもつながる。



曲げと抜きをテーマ コニックがシヨールーム 曲げと抜きをテーマにした展示。コニック（岡山県勝央町、大川雅子社長、0868・380・610）は東大阪支店（大阪府東大阪市）に、独トルン製板金機械のシヨールーム（写真）を設置した。9月1日から営業を始める。パネルベンダーとパンチ加工機の2種を置き、曲げと抜き、抜き、の総合アモンストレーションができる体制を整えた。パネルベンダーは厚物に対応可能で曲げ精

後付してパンチとレーザーの複合機にもできる「トルパンチ」も設置した。シヨールームでは通常のデモで年100件 高硬度 耐摩耗性 田直樹社長、0538・66・8605）は、炭素鋼や高硬度鋼向け超硬エンドミル「A65I-4ED」シリーズ（写真）を

月、変圧器の大型鉄心を組